

## 国語科（書写）調査資料 作成の観点

書名	<div style="display: flex; justify-content: center; gap: 20px;"> <span>○ ○ ○ ○ ○</span> <span>○ ○ ○ ○ ○ ○</span> </div>	発行者番号 <div style="border: 1px solid black; width: 80px; height: 20px; margin: 0 auto;"></div> 発行者名
項目		
内 容	<p>＜知識及び技能が習得されるようにするための工夫＞</p> <p>○書写の基礎的・基本的な知識・技能を習得させるために、どのような工夫が見られるか。</p> <p>＜思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫＞</p> <p>○目的に応じて文字を書く学習について、どのような工夫が見られるか。</p> <p>＜学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫＞</p> <p>○児童が主体的に学習に取り組むようにするために、どのような工夫が見られるか。</p> <p>＜毛筆と硬筆との関連＞</p> <p>○毛筆と硬筆の関連を図った学習について、どのような工夫が見られるのか。</p> <p>＜各教科や日常生活との関わり＞</p> <p>○各教科等の学習活動や日常生活に生かすことのできる書写の能力を育成するために、どのような工夫が見られるか。</p>	
資 料	<p>○学習効果を高めるために、資料の内容にはどのような工夫が見られるか。</p> <p>○挿絵・写真・図表等、資料の配置や手本との関連にはどのような工夫が見られるか。</p>	
表記・表現	<p>○用具・記号などの使い方にどのような工夫が見られるか。</p> <p>○教材の内容や解説・説明の仕方について、児童の言語能力の発達の段階に応じてどのような工夫が見られるか。</p>	
総 括	（全体的な特徴、その他）	

書名 項目	<h1 style="margin: 0;">新しい 書写</h1>	2 <div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">東 書</div>
内 容	<p><b>&lt;知識及び技能が習得されるようにするための工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○2年以上は、文字を整えて書くための知識や大切な技能のポイントについて、「書写のかぎ」でその時間の学習事項を示している。</li> <li>○基本点画の書き方の特徴を、キャラクターの動きや擬態語で示している。毛筆での筆使いを扱う場面では、顔のついたマークが穂先の動き方を示している。</li> </ul> <p><b>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○問いかけの文言で思考を促し、考えを話し合う活動を入れたり、各学年のまとめ教材では、自分でめあてを選んだり設定したりして取り組む活動を入れている。</li> <li>○キャラクターの吹き出しで、気を付けて書くべきことを考える手助けをしている。</li> </ul> <p><b>&lt;学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○2～6年で「見つけよう」「確かめよう」「生かそう」「振り返ろう」の学習過程を示し、見通しをもって主体的に学べるようにしている。</li> <li>○全学年で「学びを生かそう」の単元を設け、「できるようになったよ」や「書写展覧会」などを「書写のかぎ」として自分の思いを伝えることができるようにしている。</li> </ul> <p><b>&lt;毛筆と硬筆との関連&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○毛筆の後に「生かそう」が用意され、学習内容を確認しながら硬筆で書いたり、漢字表からもさがして書いたりするようにしている。</li> <li>○水書用筆等については、「いろいろな道具をつかって書いてみよう」というページで取り上げ、その後の学習に使えるようにしている。</li> </ul> <p><b>&lt;各教科や日常生活との関わり&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「生活に広げよう」というページで、ポスターや新聞の書き方など、日常生活や各教科における具体的な活用の仕方が、学年や学習内容に応じて示されている。</li> </ul>	
資 料	<ul style="list-style-type: none"> <li>○1・2年の巻頭に、鉛筆の持ち方が右利き用と左利き用で示されており、両利きの動画が見られるQRコードがついている。</li> <li>○QRコードは、動画・シュミレーション・アニメーションの3種類で整理されている。</li> </ul>	
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>○同じマークが使用されたり、字形や配列等の分野ごとに色分けされたりしている。</li> <li>○巻末にある「書写のかぎ」には既習のポイントが示されたページ数が表記され、そのポイントを振り返るようにしている。</li> </ul>	
総 括	<ul style="list-style-type: none"> <li>○めあての達成に向けて、「書写のかぎ」で注目すべきポイントの提示と、単元の終わりの「ふりかえろう」の提示で、まとめやすくなるよう工夫されている。</li> <li>○めあてに対して同じ学習内容の漢字を二つ以上扱うことで、繰り返し練習ができ、めあての達成に向けて粘り強く取り組めるように工夫されている。</li> </ul>	

書名 項目	<h1>小学 書写</h1>	17 <div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">教 出</div>
内 容	<p><b>＜知識及び技能が習得されるようにするための工夫＞</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○全学年で「めあて」が示され、習得したい知識や技能が明確になるようにしている。3年以上は、「ここが大切」にめあて達成のための要点を示している。</li> <li>○運筆のリズムを、「すうっ」「とん」などの擬態語やキャラクターの一連の動作で示している。毛筆では、筆の向きや筆圧の動きをマークで示している。</li> </ul> <p><b>＜思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫＞</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○3年以上は「考えよう」の具体的な言葉でめあてへの気付きを促したり、高学年では話し合う活動や評価し合う活動を取り入れたりしている。</li> <li>○「ふりかえろう」で、めあてに対する自分の達成度を確認するようにしている。</li> </ul> <p><b>＜学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫＞</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○2年で「つかむ」「考える」「確かめる」「振り返る」、3年以上は「生かす・広げる」を加えて学習過程を示し、見通しをもって学べるようにしている。</li> <li>○全学年で「書いてつたえ合おう」の単元を設け、「ありがとうカード」「年賀状、絵葉書」など、今までに様々な人と関わってきたことを実感できるようにしている。</li> </ul> <p><b>＜毛筆と硬筆との関連＞</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○毛筆の前後に硬筆で「ためし書き」と「まとめ書き」を設けて、教科書に書くようにしている。</li> <li>○水書用筆等については「水しょようしのつかい方」というページで取り上げ、すいしょのマークのあるところで活用できるようにしている。</li> </ul> <p><b>＜各教科や日常生活との関わり＞</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「レッツ・トライ」というページで、ノートの書き方やメモの取り方など、日常生活や各教科における具体的な活用の仕方が、学年や学習内容に応じて示されている。</li> </ul>	
資 料	<ul style="list-style-type: none"> <li>○1・2年の巻頭に、鉛筆の持ち方が右利き用と左利き用で示されており、両利きの動画が見られるQRコードがついている。</li> <li>○QRコードは、動画・ワークシート・資料の3種類で整理されている。</li> </ul>	
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>○毛筆の学習では、練習用紙の選択の仕方や作り方が示されている。</li> <li>○同じマークを使用したり、学習内容の進み具合に応じてキャラクターが成長し、学習の流れをつかみやすく工夫されている。</li> </ul>	
総 括	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「めあて」が各単元の始めに明確に示され、「考えよう」でめあてを達成するために必要な着眼点を示し、「ふりかえろう」で確認すべき観点が明示されている。</li> <li>○「知りたい文字のせかい」で文字を伝統的な言語文化として触れられるように工夫されている。</li> </ul>	

書名 項目	<h1 style="margin: 0;">書写</h1>	38 <div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">光村</div>
内 容	<p><b>＜知識及び技能が習得されるようにするための工夫＞</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○3年以上は「ねらい」と「学習の進め方」と「たいせつ」がセットで示され、知識や技能における要点を適宜確認しながら進められるようしている。</li> <li>○基本点画の書き方や筆使いを、キャラクターの姿勢や体の動きで示している。毛筆での筆使いを扱う場面では、顔のついたマークが穂先の動き方を示している。</li> </ul> <p><b>＜思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫＞</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○2年では「なぞとき」「ふりかえろう」で考えが整理できるようにしたり、3年以上では「考えよう」で思考する場面を設けたりしている。</li> <li>○5・6年では、課題に対する考えと理由について話し合う活動を取り入れている。</li> </ul> <p><b>＜学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫＞</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○3～6年で「考えよう」「確かめよう」「生かそう」の学習過程を示し、見通しをもって学べるようにしている。</li> <li>○6年の「私の文字」という単元で、著名人の直筆記名やインタビューが掲載されていて、自分の文字や生き方について意識を向けられるようにしている。</li> </ul> <p><b>＜毛筆と硬筆との関連＞</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○毛筆の後に「生かそう」が用意され、学習したことを確かめながら硬筆で書くようにしている。</li> <li>○水書用筆等については「水ふでで書いてみよう」というページで取り上げ、単元にマークを付けて活用する場面を示している。</li> </ul> <p><b>＜各教科や日常生活との関わり＞</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「書写広げたい」というページで、手紙や横書きの書き方など、日常生活や各教科における具体的な活用の仕方が、学年や学習内容に応じて示されている。</li> </ul>	
資 料	<ul style="list-style-type: none"> <li>○1・2年の巻頭に、右利き用の鉛筆の持ち方が示されており、両利きの動画が見られるQRコードもついている。</li> <li>○QRコードは、動画・写真・アニメーション・資料の4種類で整理されている。</li> </ul>	
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学習のポイントを示す「たいせつ」には学習した順に番号がふられ、巻末のまとめで振り返るようにしている。</li> <li>○キャラクターからのヒントで学習の要点が分かりやすくなるように工夫されている。</li> </ul>	
総 括	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「ねらい」を達成するための学習の進め方が簡潔にまとめられており、達成できたか欄にチェックして学習の振り返りをすることができるようようにしている。</li> <li>○1・3年に「スタートブック」が構成され、最初に押さえるべき基本を確認できるように工夫されている。</li> </ul>	

国語科（書写） 調査資料 2

○分量について

内容	学年	東書	教出	光村
1 総ページ数 ※ 目録に記載されたページ数	1年	52	52	52
	2年	48	44	44
	3年	58	62	66
	4年	54	62	54
	5年	54	54	50
	6年	54	54	58
2 綴じ込み、巻末資料等の総ページ数 ※ 目次も含む	1年	17	19	21
	2年	22	18	19
	3年	34	30	28
	4年	30	31	30
	5年	33	28	28
	6年	34	33	38
3 単元数	1年	5	4	5
	2年	8	3	4
	3年	8	8	6
	4年	7	8	6
	5年	8	9	6
	6年	7	6	5
4 QRコードの数	1年	21	21	29
	2年	20	11	25
	3年	27	20	38
	4年	24	18	34
	5年	23	17	34
	6年	21	19	31

○領域別等の教材数などについて

内容	学年	東書	教出	光村	
1 総教材数 ※ 本編中における主たる手本の数	1年	42	48	44	
	2年	36	32	37	
	3年	27	32	33	
	4年	26	34	24	
	5年	23	26	25	
	6年	21	25	21	
2 手本の種別数	毛筆	1年	0	0	0
		2年	0	0	0
		3年	11	9	11
		4年	10	11	10
		5年	11	9	10
		6年	9	11	10
	硬筆	1年	35	42	36
		2年	31	26	33
		3年	5	10	11
		4年	4	6	1
		5年	2	6	2
		6年	0	3	2
3 扱い種別教材数の	毛筆と硬筆の関連を図った教材数		1年	0	0
			2年	0	0
			3年	6	8
			4年	6	7
			5年	4	6
			6年	5	5

○領域別等の教材数などについて

扱 い 種 別 材 数 の	各教科等や日常生活に生かす視点に 立った教材数	1年	7	6	0
		2年	5	6	0
		3年	5	7	8
		4年	6	9	7
		5年	6	6	6
		6年	7	8	5

○指導事項数について

内容		学年	東書	教出	光村
1	姿勢、用具の持ち方について	1年	6	6	6
		2年	5	5	6
		3年	5	5	8
		4年	4	5	4
		5年	3	4	4
		6年	3	3	5
2	筆順について	1年	20	26	22
		2年	11	22	16
		3年	7	13	4
		4年	5	17	9
		5年	9	12	6
		6年	3	12	8
3	文字の形、大きさについて	1年	19	25	20
		2年	18	15	11
		3年	9	15	14
		4年	16	23	19
		5年	9	17	14
		6年	10	15	14
4	配列、字配りについて	1年	0	0	0
		2年	0	0	0
		3年	7	8	3
		4年	7	7	11
		5年	9	6	10
		6年	10	16	13